

## ニュース・年間行事

- 1月29日 ホソカワ粉体工学振興財団贈呈式の開催  
(会場：千里阪急ホテル)
  - ・本年のKONA賞は広島大学奥山教授が受賞され、記念の講演が行われた。参加者59名。
- 1月30日 第13回ホソカワ粉体工学シンポジウムの開催 (会場：千里阪急ホテル)
  - ・テーマは「ナノ粒子の分散による材料構造制御とその応用」。参加者71名。
- 2月21日 ナノクリエータの販売開始
  - ・瞬間気相生成法(Flash Creation Method)により、複合ナノ粒子、多成分ナノ粒子を連続的に量産するシステム「ホソカワミクロン ナノクリエータ」の発売が開始された。
- 2月21日～23日 nanotech 2007 への展示
  - ・上記の複合ナノ粒子製造システム「ナノクリエータ」、乾式ナノ粒子複合化システム「ナノキュラ」、ならびに 世界初DDS薬剤封入PLGAを塗布したステントの展示を行った。  
(DDS:Drug Delivery System, 薬物送達システム)
- 7月20日 ホソカワ粉体工学振興財団への助成申請締切
  - ・本年度は、研究助成を含めて176件の申請があった。採択は11月理事会にて正式に決定された。
- 8月3日 第2回ものづくり日本大賞の受賞。
  - ・ホソカワ粉体技術研究所が、第2回ものづくり日本大賞(経済産業省、文部科学省、厚生労働省及び国土交通省の4省庁主催)で、「DDSコンセプトに基づくPLGAナノ複合粒子配合機能性化粧品の技術開発と実用化」によって「優秀賞」を受賞。
- 9月10日 ホソカワミクロン(株) 新本社ビル(102頁参照)が完成し竣工式が行なわれた。
- 9月11日 第41回粉体工学に関する講演討論会の開催(会場：千里阪急ホテル)
  - ・テーマは「ナノパーティクルテクノロジー：新市場開拓と参入」。参加者数は167名。
- 9月12日 第5回日本バイオベンチャー大賞の受賞
  - ・ホソカワ粉体技術研究所が、独自のPLGAナノ粒子によるDDS技術とその事業モデル、ならびに機能性化粧品等の応用製品に関する事業展開により、第5回日本バイオベンチャー大賞(グランプリ)を受賞。
- 10月16～19日 粉体工業展大阪2007への出展
  - ・新製品として、新型ACMパルベライザ(ACM-15H)、少量多品種用フィルタメディア「シンプルフィルタ」を初公開。



第5回日本バイオベンチャー大賞贈賞式(10月18日)の様子  
(写真提供：フジサンケイビジネスアイ)

## 編集後記

ホソカワミクロン株式会社の創立90周年を迎えた昨年平成18年(2006年)の末、昭和43年(1968年)に枚方事業所で初めて建てられた粉体工学研究所の事務所棟が解体され、新本社の建設が始まりました。そして新社屋は本年9月に完成し、現在旧社屋が解体され駐車場の整備などにより、新しい本社として変貌しつつあります。このような状況の中で、ここ数年社内で行われていたホソカワ粉体工学シンポジウムも前回は社外で開催されました。

本号は、1月に開催された同シンポジウム、ならびに9月に大阪で開催された第41回粉体工学に関する講演討論会の講演内容を特集として編集されています。

昨年は50号記念号をNo.50(2006/2007)として発行しましたが、本年号はNo.51(2008)としてナンバリングを継続していきたいと考えております。また、昨年より電子ジャーナル化も始めました。本誌につきまして、ご意見、ご要望等がございましたら、何なりと事務局までご連絡頂けましたら幸いです。よろしくお願致します。

---

“粉砕” No.51 (2008)

2007年11月20日 発行

編集発行責任者 横山 豊和

発行所 株式会社 ホソカワ粉体技術研究所  
大阪府枚方市招提田近1丁目9  
電話：072-855-2307

F A X : 072-855-2561

印刷所 (株)NPCコーポレーション

大阪市北区天満1丁目9-19

---